



宏友会

手稲リハビリテーションセンター

# 風車のある丘

第36号 (2025年3月発行)



## 目次

- ・新型コロナウイルス感染症対応におけるご家族様のご協力の御礼
- ・施設行事のご紹介

表紙の写真撮影場所:手稲リハビリテーションセンター

写真撮影:広報委員会

## 新型コロナウイルス感染症対応におけるご家族様のご協力の御礼

新年を迎え、お正月の気分が抜けぬ間に、あっという間に月日が流れました。手稲リハビリテーションセンターでは、年末年始に新型コロナウイルスの影響で面会制限を行ってまいりました。ご家族様にはご迷惑やご心配をおかけし、申し訳ございませんでした。ご理解とご協力に心より感謝申し上げます。また、ご利用者様には制限の中で不便な思いをさせてしまったことと申します。幸い、1月中旬に無事に終息を迎え、ご利用者様や職員も通常の生活を取り戻しつつあります。

さらに、ご利用者様が楽しみにされていた年末の行事「もちつき大会」については、3月に延期させていただいております。現在、職員一同、皆様楽しんでいただけるよう準備を進めておりますので、どうぞご期待ください。なお、もちつき大会の様子は次回7月発刊予定の広報誌に掲載いたしますので、ぜひ楽しみにお待ちしております。

## マザー保育園西宮の沢の園児たちが遊びに来てくれました！

皆さま当日の朝からとても楽しみにしており、園児たちがユニットに入ってくると、「こっちおいで！」と明るい笑顔で迎えていました。ボールを使ったゲームや園児による歌の披露など、楽しいひとときを過ごすことができました。

ゲームの途中に行われた質問コーナーでは、園児からご利用者様へ「好きな食べ物はなんですか？」という質問がありました。「肉が好きだな」というご利用者様の答えに、「僕も好き！」「私、昨日食べたよ！」と、園児たちが元気いっぱいにお話してくれました。

終始笑い声が絶えず、子どもたちの持つ力を改めて実感しました。ぜひまた遊びに来てくださいね！



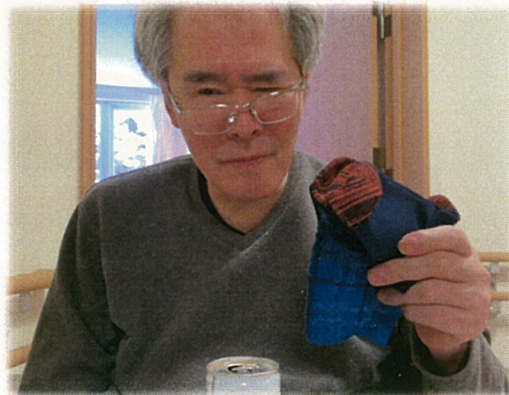
## クリスマスの様子



南4条館では、感染対応中でも楽しみを持って過ごしていただきたいとの思いから、サンタクロースに扮した職員が感染対策の上、おひとりおひとりの居室に伺いました。皆様楽しんでいただけたようで、「来てくれてありがとう」と笑顔で出迎えて下さりました。次のクリスマスには、皆様と一緒に和やかに過ごせることを願います。



## お正月の様子



西2条館では、新年会としてケーキバイキングを開催しました。皆様、どの味にしようかじっくり悩まれていましたが、気に入ったものや気になるものがあれば、何度でも取りに行けるのがバイキングの醍醐味。次はどれにしようかと、職員や他のご利用者様と味の情報交換をしながら、会話も弾んでいました。また、昨年のクリスマス会がコロナの影響で延期となっていたため、プレゼントもお渡ししました。靴下とハンカチを受け取った方は、とても嬉しそうなお様子でした。新年の喜びとともに、気持ちが温くなるひとときとなりました。

## 季節のおやつ



北2条館では、冬至にかぼちゃだんごを利用者様と一緒に作りました。冬至には「ん」のつく食べ物を食べることで幸運を呼び込むと考えられており、別名「なんきん」とも呼ばれるかぼちゃを食べることで一陽来復を祈るという風習があるそうです。

手作りのかぼちゃだんごは、色鮮やかで温かく、寒さを乗り越える力を感じさせてくれるものでした。中には、「この味が懐かしい」と微笑んでくださるご利用者様もいらっしゃいました。また、今回の活動を通じて、職員とご利用者様が協力しながら作業を進める楽しさや、季節の行事を共に楽しむ大切さを再認識することができました。これからも季節ごとの行事を通じて、穏やかな時間を共有していきたいと思えます。



バレンタインデーに合わせて、北西1条館では職員手作りのバイクドチーズケーキを食べました。シンプルながらも、チーズの風味がしっかりと感じられる美味しいケーキに仕上がりました。

ご利用者様からは、「シンプルで食べ飽きしない！」との声も。普段はなかなか味わえない手作りのケーキを、皆様と一緒に味わえたことが、職員にとっても嬉しいひとときとなりました。

今後も皆様に笑顔と温かさを届けられるよう、職員一同努力してまいります。

